

Europe Indicators

発表日: 2023年7月11日(火)

欧州経済指標コメント: 6月英国労働統計

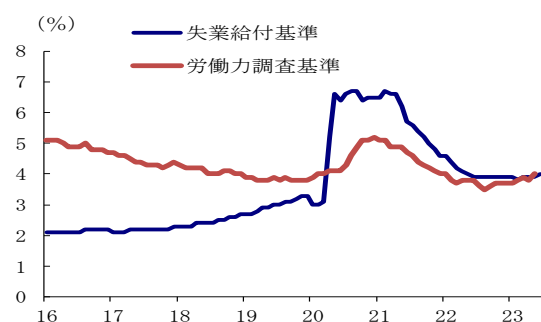
～賃上げ加速で、BOEは8月も50bp利上げに～

第一生命経済研究所 経済調査部

首席エコノミスト 田中 理 (TEL: 03-5221-4527)

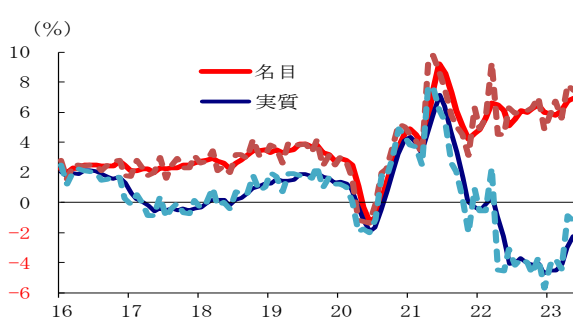
- 11日に発表された英国の労働統計では、6月の失業給付ベースの失業率が過去3ヶ月の3.9%から4.0%に小幅上昇。労働力調査ベースの失業率も5月に終わる3ヶ月移動平均で4.0%と、前月の3.8%から上昇した。5月単月では同一サンプルの2月から0.5ポイント上昇。年明け以降の5ヶ月のうち3ヶ月で同一サンプルの計数が上昇に転じている。失業率の上昇は、労働参加率の上昇と失業者の増加の両方によるもので、労働需給の逼迫が僅かに緩和する傾向にある。
- 今回の注目点は賃金動向。全産業の賞与を含む時間当たり賃金は、5月までの3ヶ月平均で前年比+6.9%と、前月の同+6.7%から一段と加速、2月の同+5.8%を直近ボトムに上昇率が加速している。賞与を除く賃金が前月: 同+7.3%→今月: 同+7.3%と高水準で横這いの一方、賞与が同+3.9%→同+6.3%と大幅に加速した。賞与を含むベースでは、民間部門(同+7.1%)が公的部門(同+5.9%)を上回っている。ベイリーBOE総裁は「景気の予想以上の底堅さが賃上げを通じて物価の粘着性をもたらしている」と、ハント財務相は「インフレ抑制には、公的部門の賃上げなどで責任ある財政上の決定を行う必要がある」と、揃って参加した10日のイベントで発言。今月中に決定予定の公的部門の賃上げ幅を抑制する可能性を示唆した。財務相は先月、公的部門の賃上げのために新規国債の発行をしないと発言、財政中立的な賃上げを検討している模様。今回の賃上げ加速からは、8月のMPCでのBOEの利上げ幅加速の可能性が示唆される。前回同様に50bpの利上げを決定し、政策金利を5.5%に引き上げると予想する。

■英国: 失業率



注: 労働力調査基準は3ヶ月移動平均 出所: 英国統計局

■英国: 週当たり賃金・賞与(全産業、前年比)



注: 実線は3ヶ月移動平均値

出所: 英国統計局

■英国の失業給付・平均賃金

	2022		2023										
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	
失業率(失業給付、%)	3.9	3.9	3.9	3.9	3.9	3.9	3.9	3.9	3.8	3.9	3.9	3.9	4.0
失業給付件数(前月差、千人)	-17	-12	7	-9	14	7	-22	-19	27	23	-23	26	
失業率(労働力調査、%)	3.6	3.5	3.6	3.7	3.7	3.7	3.7	3.8	3.9	3.8	4.0	—	—
(単月の失業率、%)	3.58	3.49	3.69	3.82	3.50	3.80	3.75	3.80	4.03	3.56	4.34	—	—
就業者数(3ヶ月前差、千人)	39	-109	-53	27	27	74	66	169	182	250	103	—	—
週当たり賃金(産業計、前年比、%)	5.5	6.1	6.0	6.2	6.5	6.0	5.9	5.8	6.1	6.7	6.9	—	—
賃金	5.2	5.5	5.8	6.1	6.5	6.7	6.6	6.6	6.8	7.3	7.3	—	—
ボーナス	10.3	16.6	9.7	6.5	6.2	-0.9	-1.6	-3.0	1.6	3.9	6.3	—	—

注: 労働力調査基準の失業率、週当たり賃金は当月で終わる3ヶ月移動平均 出所: 英国統計局

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命保険ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

